

2016年3月期決算および 新中期経営計画(2016-2020)説明資料

2016年5月26日

文化シヤッター株式会社

目次

P1 平成28年熊本地震の影響と対応について

P2 2016年3月期の実績について

P3 事業環境

P4 業績

P5 売上高および営業利益の増減要因

P6 セグメント別売上高および営業利益

P7 売上高の用途別セグメント別分析

P8 新中期経営計画について

P9 前長期経営計画の振り返り

P10 事業環境

P11 新中期経営計画の基本テーマ

P12 新中期経営計画の事業目標

P13 新中期経営計画の概要

P14 基幹事業の拡大① シャッター事業の強化

P15 基幹事業の拡大② ドア事業の強化

P16 注力事業の強化① エコ&防災事業の強化

P17 注力事業の強化② メンテナンス事業の強化

P18 注力事業の強化③ 海外事業の強化

P19 注力事業の強化④ ロングライフ事業の強化

P20 重点施策 施工体制の強化拡充

P21 2017年3月期の見通しについて

P22 業績見通し

P23 売上高および営業利益の増減要因

P24 セグメント別状況

P25 トピックス

P26 B Xティアール第4工場棟竣工

P27 参考資料

P28 文化シャッターグループ概要

P29 文化シャッターグループの会社構成と海外事業展開

P30 連結貸借対照表

P31 連結キャッシュフロー計算書

P32 シャッター関連製品の状況（単体）

（重量シャッター、軽量シャッター、窓シャッター）

P33 建材関連製品の状況（単体）

（ドア、パーティション、エクステリア）

P34 サービス事業、リフォーム事業の状況

平成28年熊本地震の影響と対応について

平成28年4月14日以降に発生した熊本県などを震源とする地震により亡くなられた方々に謹んでお悔やみを申し上げますとともに、被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。
被災地の一日も早い復旧を、文化シャッターグループ一同、心よりお祈り申し上げます。

被災状況

<社員>

- ・全グループ社員、工事員および家族に被害なし

<生産拠点・生産設備>

- ・福岡工場、BXケンセイ(大分県)に影響なし

<営業・修理サービス拠点>

- ・熊本市内にある事業所内の棚が倒壊

対応状況

<お客様への対応>

- ・非常時の修理緊急体制として、他エリアからの応援を含む27名体制(文化シャッターサービスのカスタマーエンジニアと工事員)で対応中(現在は20名体制)。
- ・地震発生直後は、シャッターの応急的な修理に対応。以降は通常時の約2倍の修理・取り替え・点検等の依頼に対応中。

支援状況

- ・飲料水(約2,500リットル)、簡易トイレ(約1,000回分)、避難所用間仕切(200セット)を提供
- ・復興支援のための義援金500万円を熊本県に寄贈



「避難所用間仕切」

2016年3月期の実績について

	2014年3月期		2015年3月期		2016年3月期	
	実績	伸率	実績	伸率	実績	伸率
新設住宅着工戸数 (万戸)	98.7	110.6%	88.0	89.2%	92.0	104.6%

非住宅着工床面積 (万㎡)	5,625	108.1%	5,261	93.8%	5,016	95.4%
工場・倉庫 (万㎡)	1,506	100.7%	1,591	98.0%	1,695	106.5%
医療・福祉 (万㎡)	1,111	120.2%	915	96.1%	692	75.7%
店舗 (万㎡)	835	112.3%	714	75.8%	605	84.7%
事務所 (万㎡)	609	99.5%	618	98.0%	630	101.9%

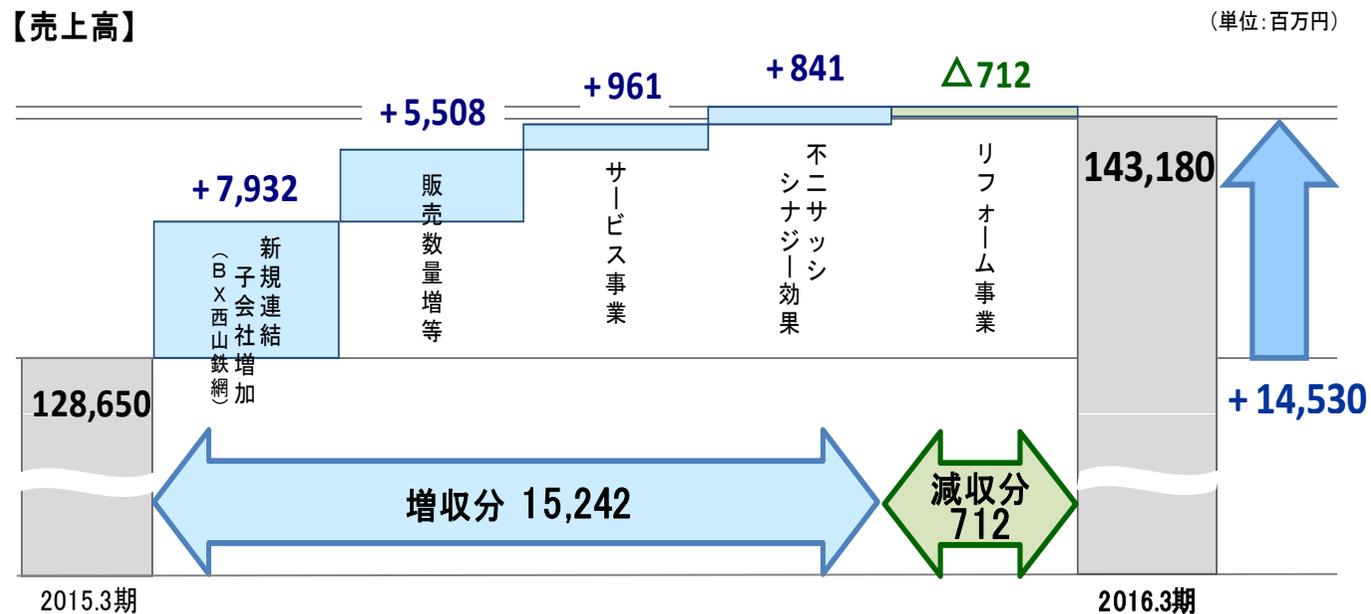
- ◆ 経済環境は、企業業績や雇用環境に改善傾向が見られるなど、景気は緩やかな回復基調で推移した。
その一方で、中国の景気減速をはじめ、原油や鉄鉱石などの資源価格下落による新興国経済が鈍化するなど、景気の先行きに対する不透明感は拭いきれない状況で推移した。
- ◆ 建築市場について、当グループの先行指標である新設住宅着工戸数は、前期比4.6%増の92万戸と堅調に推移した。
非住宅着工床面積（建築確認申請時点）は、工場と事務所向けが増加したものの、医療・福祉向けが大きく減少するなど、前期比4.6%減の5,016万㎡と2年連続で減少した。

(単位:百万円)

	2015年3月期		2016年3月期				
	実績	売上比	11月予想	実績	売上比	前期比	予想比
売上高	128,650	100.0%	145,000	143,180	100.0%	111.3%	98.7%
売上原価	92,738	72.1%	105,300	103,823	72.5%	112.0%	-
売上総利益	35,912	27.9%	39,700	39,356	27.5%	109.6%	-
販売費及び一般管理費	26,658	20.7%	29,200	29,269	20.4%	109.8%	-
営業利益	9,253	7.2%	10,500	10,087	7.1%	109.0%	96.1%
経常利益	10,045	7.8%	11,000	10,524	7.4%	104.8%	95.7%
当期純利益	6,492	5.0%	7,000	6,349	4.4%	97.8%	90.7%
1株当たり配当金	17円 (うち記念1円)		20円	20円		+4円	-
設備投資額	3,361		3,500	5,475		162.9%	-
減価償却費	1,791		2,500	2,505		139.9%	-
期末 従業員 (人)	正社員	3,518	3,770	3,805		+287	-
	臨時雇用者	948	970	945		△3	-
	合計	4,466	4,740	4,750		+284	-

- ◆「売上高」は、6期連続の増収、3期連続の過去最高売上。
- ◆「営業利益」は、過去最高益を更新。「経常利益」は増益となったが、15年3月期に計上した子会社の特別利益などが影響し、「当期純利益」は減益。
- ◆「設備投資額」54億円の主な内訳は、新販売管理システムの開発費約14億円、工場建設と設備の合理化および更新で約34億円。
- ◆「1株当たり配当金」は、4円増配の20円に引き上げ。

売上高および営業利益の増減要因

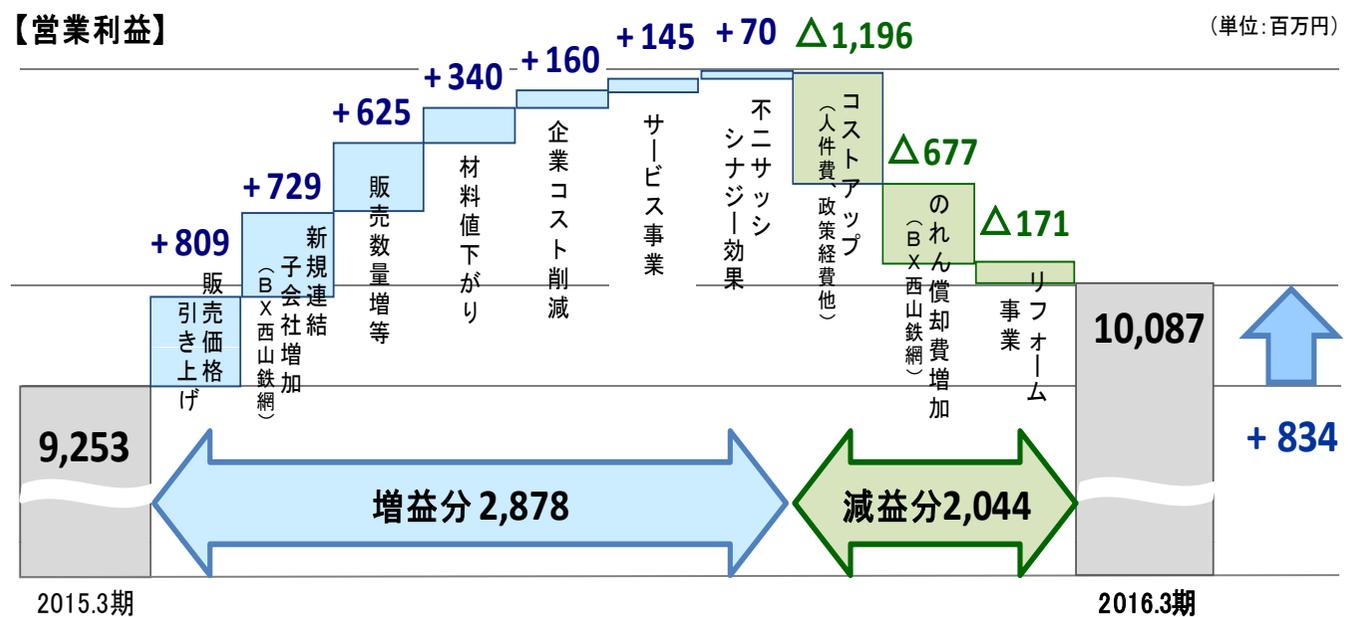


◆「売上高」の増減要因について、

増収要因は、「BX西山鉄網の新規連結」、「販売数量の増加」などによる売上拡大、「サービス事業」、「不ニサッシとのシナジー効果」が寄与。

減収要因は、「リフォーム事業」の売上減が影響。

トータルで145億3,000万円の「増収」。



◆「営業利益」の増減要因について、

増益要因は、「販売価格の引き上げ」、「BX西山鉄網の新規連結」、「販売数量の増加」などが寄与。

減益要因は、従業員の処遇改善に伴う人件費と、新販売管理システムの導入など政策経費を含めた「コストアップ」、BX西山鉄網の新規連結に伴う「のれん償却費の増加」、「リフォーム事業」の売上減が影響。

トータルで8億3,400万円の「増益」。

セグメント別売上高および営業利益

(単位:百万円)

	2015年3月期		2016年3月期	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益
シャッター関連製品事業	48,060 (51,000)	6,751 (7,600)	50,788 (51,200)	7,542 (7,680)
伸率	100.3%	94.7%	105.7%	111.7%
増減	129	△ 377	2,728	790
建材関連製品事業	53,013 (53,400)	3,118 (2,500)	64,658 (65,500)	3,401 (3,650)
伸率	107.8%	138.6%	122.0%	109.1%
増減	3,818	869	11,644	282
サービス事業	15,502 (16,000)	1,717 (1,900)	16,463 (16,200)	1,862 (1,750)
伸率	103.5%	101.2%	106.2%	108.5%
増減	519	20	961	145
リフォーム事業	8,417 (9,600)	54 (300)	7,705 (8,550)	△ 117 (△20)
伸率	76.2%	7.3%	91.5%	-
増減	△ 2,625	△ 686	△ 712	△ 171
その他事業	3,656 (4,000)	261 (300)	3,563 (3,550)	238 (240)
伸率	105.7%	145.3%	97.4%	91.3%
増減	195	82	△ 93	△ 22
配賦不能額	-	2,649 (2,600)	-	2,840 (2,800)
合計	128,650 (134,000)	9,253 (10,000)	143,180 (145,000)	10,087 (10,500)
伸率	101.6%	97.0%	111.3%	109.0%
増減	2,036	△ 283	14,530	834

()は中間期予想数字

- ◆ 「シャッター関連製品事業」は、オフィスや物流倉庫向けの重量シャッターと、消費税増税に伴う反動減から持ち直した軽量シャッターが好調に推移し、「増収増益」。
- ◆ 「建材関連製品事業」は、医療・福祉施設向けの引戸が苦戦したが、再開発に伴うオフィスビル向けのドアが堅調に推移し、「増収増益」。
- ◆ 「サービス事業」は、安全装置の設置や台風など災害対応の他、物流関連施設の改修に伴う修理売上が伸びた結果、収益ともに予想を上回り、「増収増益」。
- ◆ 「リフォーム事業」は、受注件数の減少により、「減収減益」。
- ◆ 「その他事業」は、止水事業が好調に推移した一方で、太陽光発電システム事業が減速した結果、「減収減益」。

売上高の用途別セグメント別分析

(単位:億円)

製品・事業群	用途	合計	工場・倉庫	オフィスビル・公共施設	医療福祉・学校	商業施設	住宅その他
増収額		145.3	49.7	58.9	△ 42.4	7.5	71.6
売上高		1,431.8	337.7	204.4	196.7	117.6	575.4
シャッター関連製品事業計	増収額	27.3	26.0	13.0	△ 7.4	△ 3.5	△ 0.8
	売上高	507.9	198.2	44.7	25.1	50.7	189.2
軽量シャッター群	増収額	9.2	6.4	0.8	△ 0.8	0.9	1.9
	売上高	153.6	59.5	8.7	2.8	13.0	69.6
重量シャッター群	増収額	30.9	20.5	10.8	△ 1.8	△ 1.5	2.9
	売上高	227.4	119.4	26.9	12.2	27.8	41.1
窓シャッター群	増収額	△ 1.4	-	-	-	-	△ 1.4
	売上高	63.9	-	-	-	-	63.9
シャッター関連群	増収額	△ 11.4	△ 0.9	1.4	△ 4.8	△ 2.9	△ 4.2
	売上高	63.0	19.3	9.1	10.1	9.9	14.6
建材関連製品事業計	増収額	116.4	23.9	40.3	△ 36.7	9.6	79.3
	売上高	646.6	75.2	123.2	160.0	39.2	249.0
エクステリア群	増収額	0.6	-	-	-	-	0.6
	売上高	71.9	-	-	-	-	71.9
ドア・パーティション群	増収額	36.5	23.9	40.3	△ 36.7	9.6	△ 0.6
	売上高	495.4	75.2	123.2	160.0	39.2	97.8
その他建材製品群	増収額	79.3	-	-	-	-	79.3
	売上高	79.3	-	-	-	-	79.3
サービス事業計	増収額	9.6	0.9	3.5	1.7	0.4	3.1
	売上高	164.6	58.3	30.9	8.6	25.2	41.6
リフォーム事業計	増収額	△ 7.1	-	-	-	-	△ 7.1
	売上高	77.1	-	-	-	-	77.1
その他事業計	増収額	△ 0.9	△ 1.1	2.1	0.0	1.0	△ 2.9
	売上高	35.6	6.0	5.6	3.0	2.5	18.5

- ◆ 増収額145億3,000万円を用途別に見ると、「工場・倉庫」「オフィスビル・公共施設」「住宅その他」向けの売上が大きく貢献。
- ◆ 「工場・倉庫」向けは、ネット通販の拡大に伴う大型物流倉庫の需要増を背景に、重量シャッターとドア群が好調に推移し、49億7,000万円の「増収」。
- ◆ 「オフィスビル・公共施設」向けは、都市圏を中心に再開発ビル向けのスチールドアと重量シャッターが好調に推移し、58億9,000万円の「増収」。
- ◆ 「医療福祉・学校」向けは、建築着工減の影響を受けた医療福祉施設向けの引戸が苦戦し、42億4,000万円の「減収」。
- ◆ 「商業施設」向けは、重量シャッターの減少分をスチールドアでカバーし、7億5,000万円の「増収」。
- ◆ 「住宅その他」向けは、リフォーム事業の減少分をBX西山鉄網の新規連結で補い、71億6,000万円の「増収」。

新中期経営計画について

◆第三次中期経営計画(2014年3月期～2016年3月期)の振り返り

物流倉庫等の堅調な非住宅市場と住宅市場の持ち直しを背景に、第三次中計では売上高、営業利益ともに計画を上回り、最終年度の2016年3月期は、売上高、営業利益、経常利益で過去最高の業績を達成した。

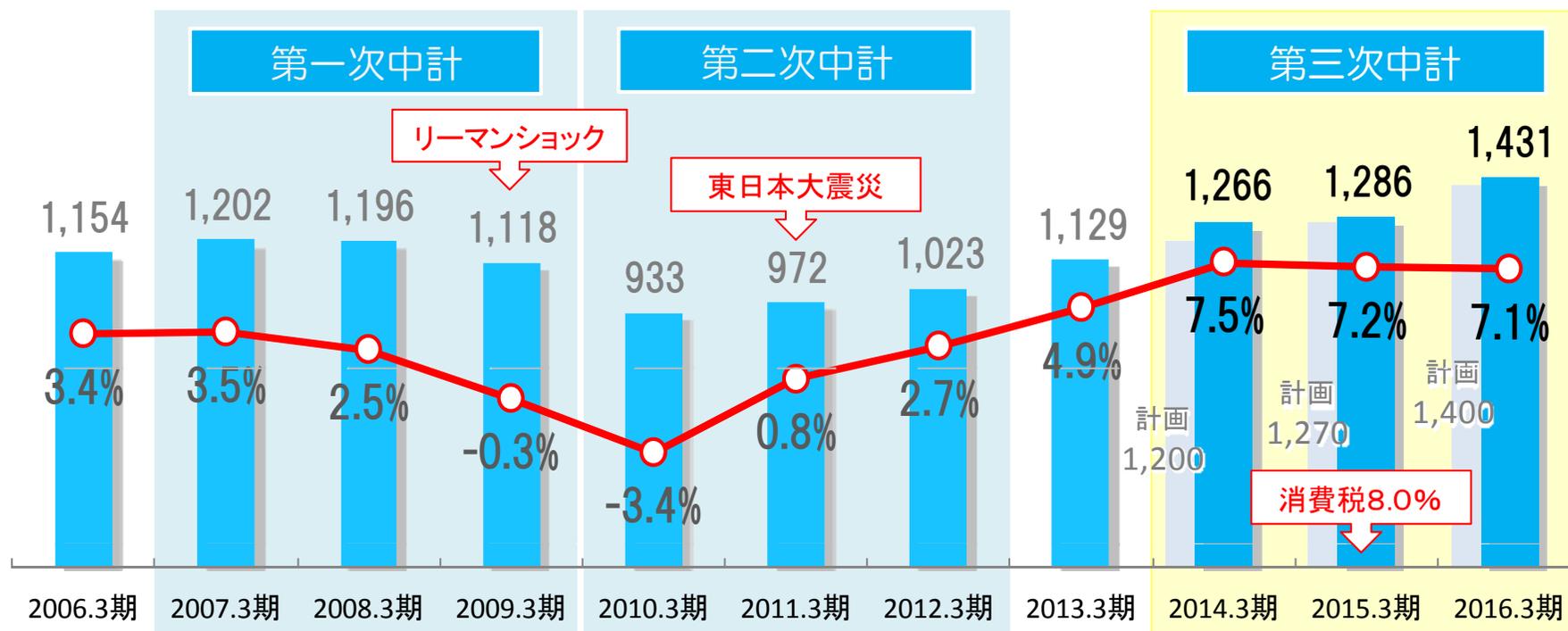
2014.3期 設備投資の持ち直しと増税前の駆け込み需要を背景に増収増益を達成

2015.3期 消費税増税の影響下、減益となったが過去最高の売上高を達成

2016.3期 堅調な非住宅市場と住宅市場の持ち直しを背景に増収増益を達成

※BX西山鉄網を子会社化、ベトナムのEurowindow社と資本提携

BXグループ売上高・営業利益率 (売上:棒グラフ 営業利益率:折れ線)



◆新設住宅着工戸数



○国内住宅市場は厳しく新設住宅着工戸数は、消費税増税後、毎年微減が見込まれる。

※シンクタンク予測平均から当社算出

◆非住宅建築投資額



○大型開発案件、物流倉庫は2020年まで需要が見込めるが、東京五輪特需のピークは2018年と予測される。伸率は鈍化するが、総投資額は増加が見込まれている。

※シンクタンク予測から当社算出

◆リフォーム市場規模



○行政主導の政策的支援や民間事業者の創意工夫により一般生活者への啓発を進めることで、さらに拡大する可能性を秘めている。

※野村総合研究所データによる

◆ASEAN 名目GDP

兆円 ※1USドル=120円換算

	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2015→2020 成長率
日本	494	500	521	534	551	570	115%
ASEAN	295	311	337	364	395	429	145%
韓国	167	174	185	198	212	228	136%
台湾	62	65	68	71	74	78	125%

○ASEAN全体の人口及び経済が拡大し、2020年の名目GDP成長率（2015年比）は145%を見込む。

※シンクタンク予測による

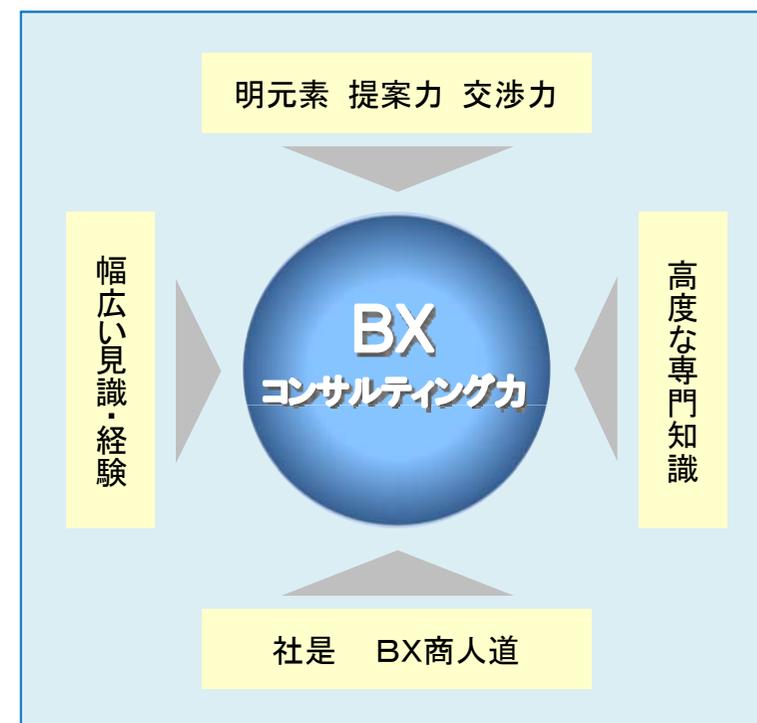


新中期経営計画(2016-2020)

～進化する快適環境ソリューショングループ～

●進化する快適環境ソリューショングループ

快適環境のソリューションに終わりはなく、常に磨きをかけて進化させていくのが当社グループの使命である。進化型ソリューションを実施するため、より高度な課題を解決できるコンサルティング力を持った人財集団を形成し、これまで以上にお客様と社会から必要とされ、喜んで頂ける商品、サービスを提供する。



既存の事業を基幹事業と位置づけ、さらなる事業を“注力事業”とし、注力事業の**売上比率30%超**をめざす。

基幹事業：シャッター群、ドア群、パーティション群、エクステリア群

注力事業：エコ・防災事業（止水・エネルギー）、ロングライフ事業（リフォーム・リニューアル事業）、
海外事業、特殊建材事業、メンテナンス事業、+α

2016年3月期	
基幹事業	1,037億円 (72.5%)
注力事業	291億円 (20.3%)
連結売上高	1,431億円



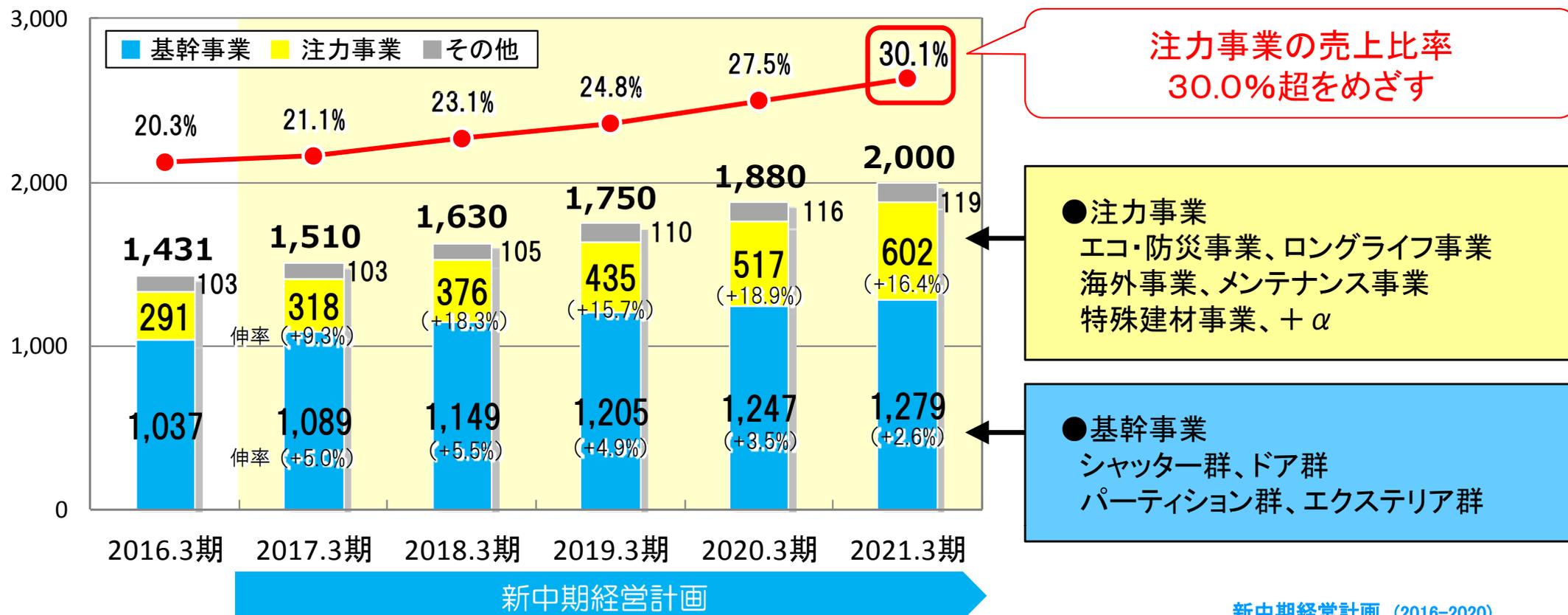
2021年3月期	
基幹事業	1,279億円 (64.0%)
注力事業	602億円 (30.1%)
連結売上高	2,000億円

(): 売上比率

新中期経営計画の概要

	2016.3期		2017.3期 計画		2018.3期 計画		2019.3期 計画		2020.3期 計画		2021.3期 計画	
	実績	前期比	計画	前期比								
売上高	143,180	111.3%	151,000	105.5%	163,000	107.9%	175,000	107.4%	188,000	107.4%	200,000	106.4%
営業利益	10,087	109.0%	10,200	101.1%	13,855	135.8%	16,275	117.5%	18,424	113.2%	20,000	108.6%
営業利益率	7.1%	▲0.1%	6.8%	▲0.3%	8.5%	+1.7%	9.3%	+0.8%	9.8%	+0.5%	10.0%	+0.2%
設備投資額	5,475	162.9%	3,500	63.9%	4,000	114.3%	4,000	100.0%	5,000	125.0%	3,500	70.0%

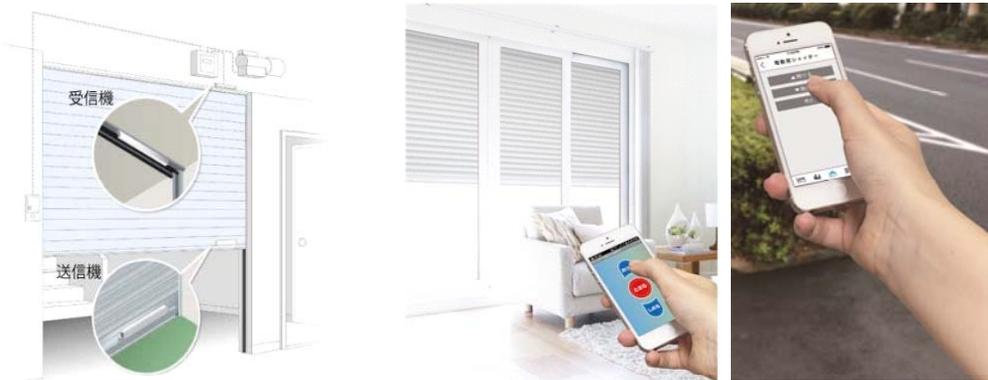
事業別売上目標(億円)



「シャッター事業」売上高(億円)



新中期経営計画



無線式危害防止装置
「マジックセーフ」

HEMSとの連携によりスマートフォンを使って外出先から窓シャッターを操作
「マドマスター・スマートタイプ」

◆シャッター事業

基幹事業である「シャッター事業」を強化することで、2021年3月期に売上高570億円をめざす。

＜重量シャッター群＞

- ・オリンピック施設および関連施設、大型物流倉庫、都市再開発物件をターゲットに受注拡大を図る。

＜軽量シャッター群＞

- ・ストック市場を含め、電動タイプを中心にガレージ向けシャッターの拡販に注力する。
- ・新たな販売チャンネルとしてWeb販売を展開する。

＜窓シャッター群＞

- ・防災・防犯をキーワードに、電動化の推進とHEMSとの連携による売上拡大を図る。
- ・新たな販売チャンネルとしてWeb販売を展開する。



Web販売のトップページ

「ドア群」売上高(億円)



新中期経営計画

「パーティション群」売上高(億円)



新中期経営計画

◆ドア事業

基幹事業である「ドア事業」を強化することで、2021年3月期に売上高474億円をめざす。

- ・オリンピック施設および関連施設、都市圏の再開発物件などを中心に受注拡大を図る。
- ・バリアフリー化が進むオフィスやマンション等向けの新商品を開発し、引戸のさらなる拡販を図る。

◆パーティション事業

基幹事業である「パーティション事業」を強化することで、2021年3月期に売上高149億円をめざす。

- ・内装建材や内装仕上げ等の周辺事業を取り込むことで、売上拡大を図る。



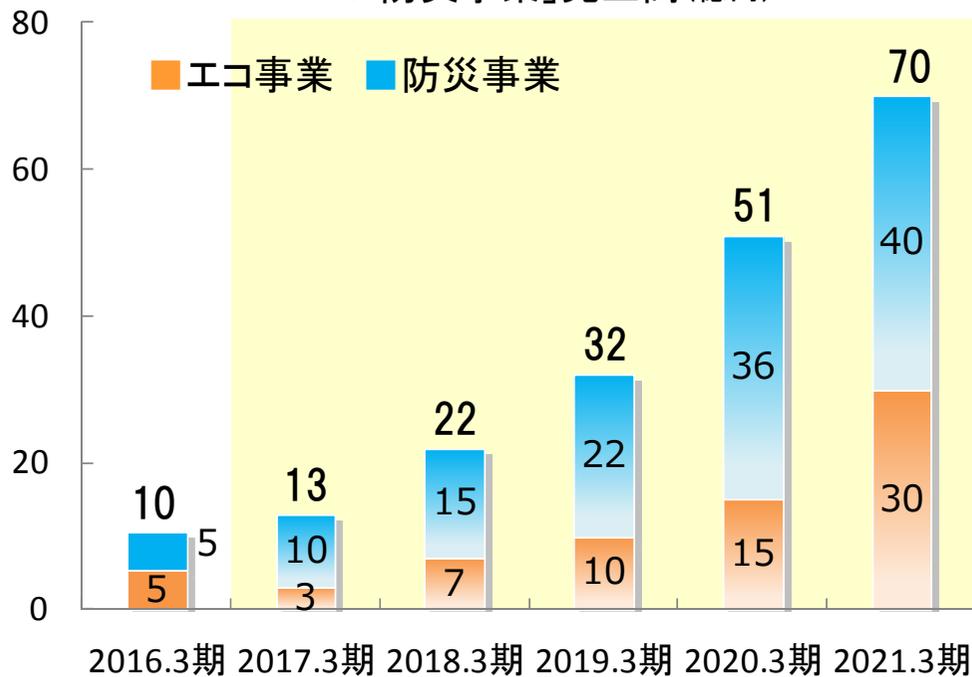
カームスライダー屋外タイプ



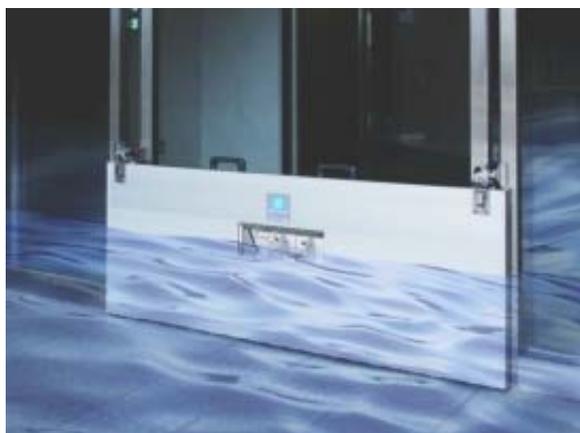
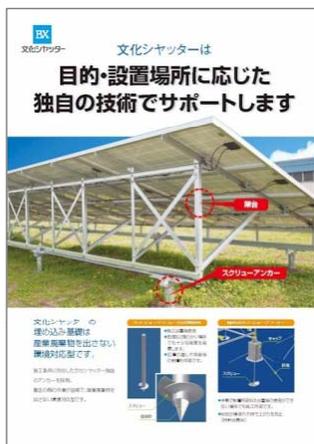
木製学校用間仕切り
プレウォール

新中期経営計画 (2016-2020)
～進化する快適環境ソリューショングループ～

「エコ・防災事業」売上高(億円)



新中期経営計画



B X 止水板「ラクセット」

◆エコ＆防災事業

注力事業である「エコ＆防災事業」を強化することで、2021年3月期に売上高70億円をめざす。

＜エコ事業＞

- ・太陽光発電システム事業に続く事業の柱を開拓し、エネルギー事業の確固たる地位を築く。

＜防災事業＞

- ・止水対策商品をさらに拡充し、止水関連売上No.1を勝ち取る
- ・止水対策商品を基軸に、コンサルティング力を加えた事業まで進化させる。

＜対象製品＞(2016年3月期時点)

エコ事業:住宅向け太陽光発電システム一式

防災事業:簡易型止水シート「止めピタ」

BX止水板「ラクセット」

止水ドア「アクアード」

「メンテナンス事業」売上高(億円)



新中期経営計画

◆メンテナンス事業

文化シャッターサービスと文化シャッターにおける修理・点検を「メンテナンス事業」と位置づけ、2021年3月期に売上高254億円をめざす。

＜防火設備の点検法制化(2016年6月施行)への対応強化＞

- ・防火設備検査員とメンテナンス要員を確保する。
- ・点検顧客の拡大による修理・リニューアル工事の受注拡大を図る。

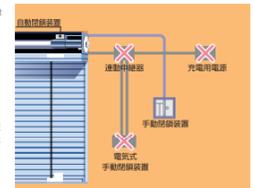


文化シャッターでは新設/既設ともに対応可能な危害防止装置をラインアップしています。

■万が一の誤作動事故を防ぎながら、バッテリーレスで省エネにも貢献
防火管理併用 防火/防煙シャッター用
機械式危害防止装置

エコセーフ
(新設シャッター・既設シャッター対応)

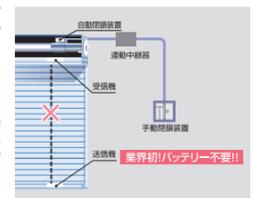
ワイヤーリールにより機械的に信号を送るシンプルな構造で、バッテリーレスを実現。高電池を内蔵していないため、交換費用が発生せず、電池切れなどのおそれもない、省エネタイプの危害防止装置です。



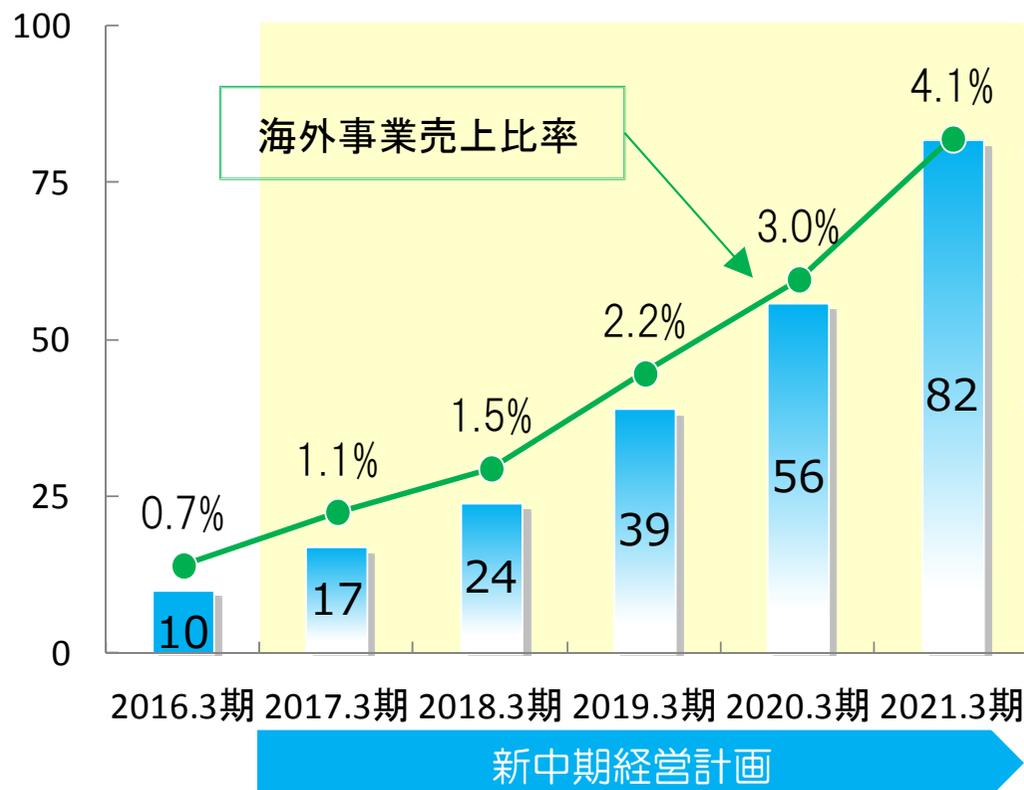
■最新感測部のコードレス化により「安全性」「施工性」「施工性」をアップ
防火/防煙シャッター用(送信機/バッテリーレスタイプ)
無線式危害防止装置

マジックセーフ
(新設シャッター・既設シャッター対応)

コードを置出させない送信方式により、全閉前のコードへのイタズラや断線を防止します。すっきりと美しい見た目、施工性も大幅に向上。自己発電により送信機部の専用バッテリーが不要になりました。



「海外事業」売上高(億円)



＜Eurowindow社＞
ベトナム国内における
アルミ・樹脂サッシの
トップメーカー

2014年売上高72億円
※2016年2月資本提携
(29.9%株式取得)

◆海外事業

東南アジアを内需と捉えたパートナーシップ戦略で海外事業を強化し、2021年3月期に「海外事業」の売上比率4.0%超をめざす。

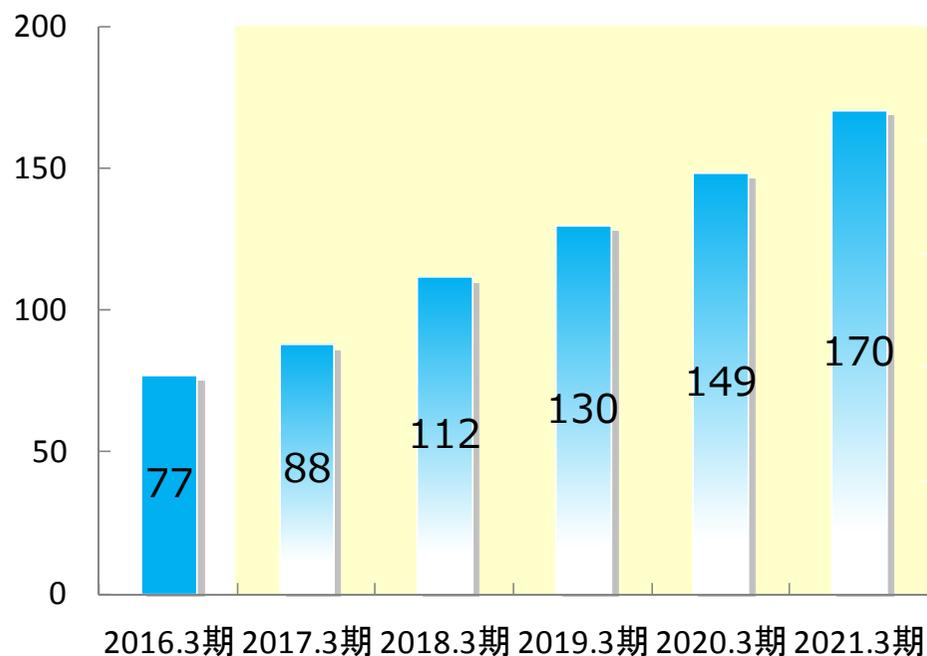
＜BX BUNKA VIETNAMによる事業展開＞

- ・日系ゼネコン物件およびEurowindow社との連携により、ベトナム現地のローカル企業向けの売上拡大を図る。
- ・東南アジア諸国の物件に製品を供給し、売上拡大を図る。

＜BX BUNKA TAIWANによる事業展開＞

- ・BX製品の現地化を進めることで、台湾国内にBXブランドの浸透を図る。

「ロングライフ事業」売上高(億円)



新中期経営計画

◆ロングライフ事業

ビルリニューアル事業と住宅リフォーム事業による「ロングライフ事業」を強化することで、2021年3月期に売上高170億円をめざす。

<ビルリニューアル事業>

- ・耐震改修案件を中心に、元請けとしての事業を確立する。
- ・そのために必要な資格者・経験者を外部から積極的に採用し強化・拡大を図る。

<住宅リフォーム事業>

- ・首都圏で展開するBXゆとりリフォームを中心に、店舗拡大と、グループの商材を活用した連携を推し進めることで事業の拡大を図る。



BXゆとりリフォーム
大和店(神奈川)
2016年3月1日オープン

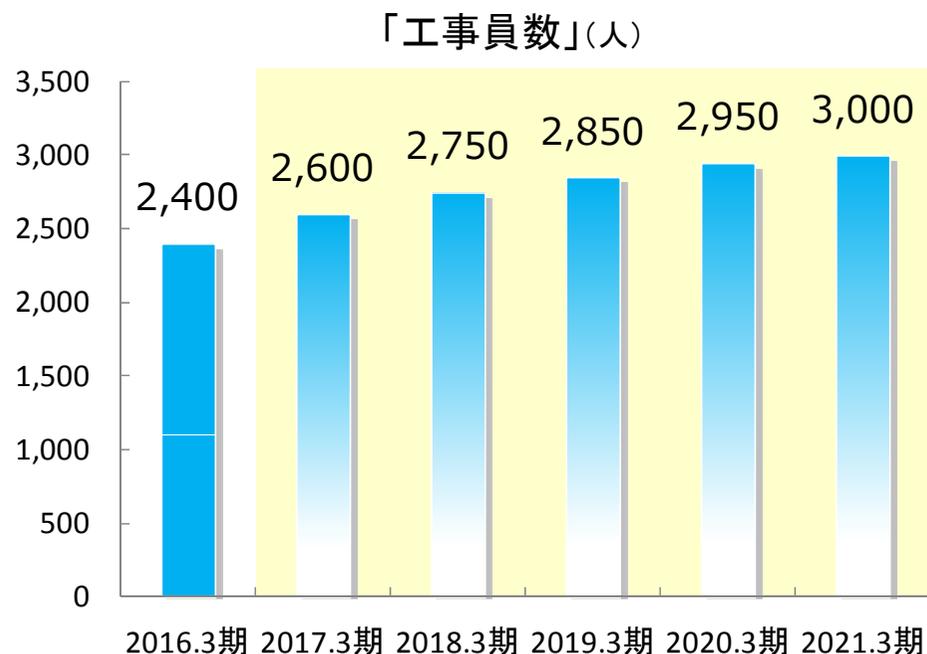


Before



After

ビルリニューアル
施工事例



新中期経営計画

◆施工体制の強化拡充

- ・防火設備の点検法制化も見据え、外国人技能育英制度も視野に入れるかたちで工事員を大幅に増員し、5年間で3,000名体制に拡充する。
- ・東名阪九州を主体に現場管理を行う工務要員を増員し、大型拠点の現場管理を強化する。

施工研修の様子



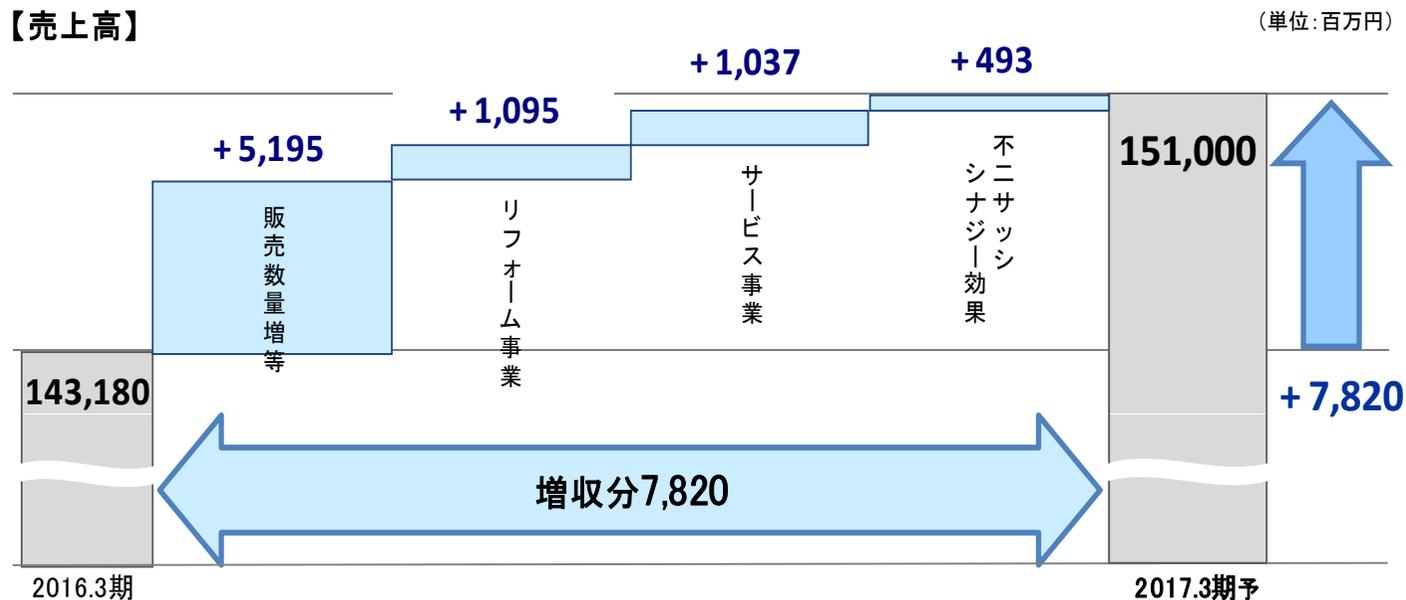
2017年3月期の見通しについて

(単位:百万円)

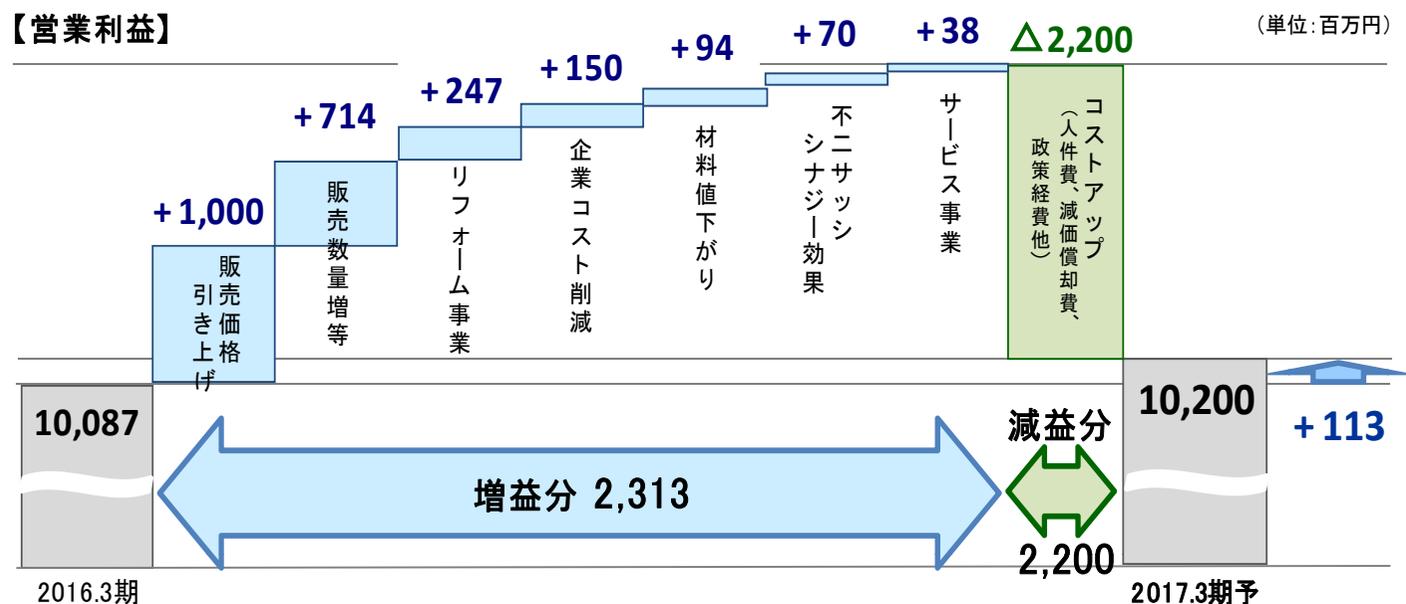
	2016年3月期				2017年3月期							
	上期実績	下期実績	通期実績	売上比	上期予想	前年同期比	下期予想	前年同期比	通期予想	売上比	前期比	
											伸率	伸額
売上高	61,687	81,493	143,180	100.0%	65,000	105.4%	86,000	105.5%	151,000	100.0%	105.5%	7,820
売上原価	44,004	59,819	103,823	72.5%	46,400	105.4%	62,900	105.2%	109,300	72.4%	105.3%	5,477
売上総利益	17,682	21,674	39,356	27.5%	18,600	105.2%	23,100	106.6%	41,700	27.6%	106.0%	2,344
販売費及び一般管理費	14,498	14,771	29,269	20.4%	15,350	105.9%	16,150	109.3%	31,500	20.8%	107.6%	2,231
営業利益	3,183	6,904	10,087	7.1%	3,250	102.1%	6,950	100.7%	10,200	6.8%	101.1%	113
経常利益	3,316	7,208	10,524	7.4%	3,250	98.0%	7,450	103.4%	10,700	7.1%	101.7%	176
当期純利益	1,697	4,652	6,349	4.4%	1,900	112.0%	5,400	116.1%	7,300	4.8%	115.0%	951
1株当たり配当金	10円	10円	20円		10円		10円		20円		-	-
設備投資額	2,416	3,059	5,475			-			3,500		63.9%	△ 1,975
減価償却費	1,174	1,331	2,505			-			3,200		127.7%	695
期末従業員 (人)	正社員	3,781	-	3,805		-			3,950		-	145
	臨時雇用者	964	-	945		-			950		-	5
	合計	4,745	-	4,750		-			4,900		-	150

- ◆ 非住宅着工床面積および新設住宅着工戸数の増加予測を背景に、売上高1,510億円、営業利益102億円の「増収増益」を見込む。
- ◆ 「設備投資額」は、主に設備の合理化および更新と、システム関連費用をあわせた29億円の外、試験検証施設ライフインセンターの新建屋建設6億円をあわせて35億円を計画。

売上高および営業利益の増減要因



◆ 「売上高」の増減要因について、
「販売数量の増加」、「リフォーム事業」と「サービス事業」の売上増などにより、78億2,000万円の「増収」を見込む。



◆ 「営業利益」の増減要因について、増益要因は、複合提案の最大化を図ることによる「販売価格の引き上げ」、「販売数量の増加」など。減益要因は、従業員の処遇改善による人件費の増加と、減価償却費および新システム導入を含めた政策経費の増加による「コストアップ」。

トータルで1億1,300万円の「増益」を見込む。

セグメント別状況

(単位:百万円)

【売上高】	2016年3月期						2017年3月期					
	上期実績			通期実績			上期予想			通期予想		
	伸率	増減		伸率	増減	伸率	増減	伸率	増減	伸率	増減	
シャッター関連事業	23,011	104.8%	1,057	50,788	105.7%	2,728	23,800	103.4%	789	53,500	105.3%	2,712
建材関連事業	25,827	118.3%	3,993	64,658	122.0%	11,644	27,200	105.3%	1,373	67,800	104.9%	3,142
サービス事業	7,426	104.0%	282	16,463	106.2%	961	7,900	106.4%	474	17,500	106.3%	1,037
リフォーム事業	3,767	86.1%	△ 609	7,705	91.5%	△ 712	4,500	119.4%	733	8,800	114.2%	1,095
その他事業	1,654	90.6%	△ 170	3,563	97.4%	△ 93	1,600	96.7%	△ 54	3,400	95.4%	△ 163
合計	61,687	108.0%	4,553	143,180	111.3%	14,530	65,000	105.4%	3,313	151,000	105.5%	7,820
【営業利益】												
シャッター関連事業	3,244	105.9%	182	7,542	111.7%	790	3,180	98.0%	△ 64	7,650	101.4%	108
建材関連事業	736	102.2%	16	3,401	109.1%	282	800	108.7%	64	3,500	102.9%	99
サービス事業	595	101.6%	9	1,862	108.5%	145	610	102.4%	15	1,900	102.0%	38
リフォーム事業	△ 122	-	△ 130	△ 117	-	△ 171	30	-	152	130	-	247
その他事業	104	83.0%	△ 21	238	91.3%	△ 22	100	95.4%	△ 4	220	92.3%	△ 18
配賦不能額	1,376	105.8%	76	2,840	107.2%	191	1,470	106.8%	94	3,200	112.6%	360
合計	3,183	99.4%	△ 20	10,087	109.0%	834	3,250	102.1%	67	10,200	101.1%	113
【受注残高】												
シャッター関連事業	18,501	110.2%	1,705	16,971	107.0%	1,111	19,800	107.0%	1,299	18,650	109.9%	1,679
建材関連事業	39,403	114.5%	4,979	30,130	101.9%	554	40,500	102.8%	1,097	35,000	116.2%	4,870
サービス事業	1,742	110.8%	170	1,646	116.3%	231	1,750	100.5%	8	1,700	103.3%	54
リフォーム事業	1,297	125.0%	260	1,195	172.5%	502	1,100	84.8%	△ 197	1,100	92.1%	△ 95
その他事業	632	74.1%	△ 222	421	61.6%	△ 262	500	79.1%	△ 132	350	83.1%	△ 71
合計	61,577	112.6%	6,892	50,365	104.4%	2,136	63,650	103.4%	2,073	56,800	112.8%	6,435
【受注高】												
シャッター関連事業	25,652	98.4%	△ 414	51,900	101.3%	663	26,628	103.8%	976	55,178	106.3%	3,278
建材関連事業	35,654	120.4%	6,050	65,212	116.6%	9,276	37,569	105.4%	1,915	72,669	111.4%	7,457
サービス事業	7,754	105.7%	419	16,695	107.5%	1,159	8,003	103.2%	249	17,553	105.1%	858
リフォーム事業	4,371	102.8%	120	8,208	103.3%	260	4,404	100.8%	33	8,704	106.1%	496
その他事業	1,602	89.9%	△ 180	3,300	95.8%	△ 144	1,678	104.7%	76	3,328	100.8%	28
合計	75,035	108.7%	5,996	145,316	108.4%	11,216	78,284	104.3%	3,249	157,434	108.3%	12,118

トピックス

第4工場棟外観



第4工場棟内ショールーム



- ◆BXグループの連携強化
- ・グループ全体の物流網、拠点の活用により、全体最適の物流体制を構築する。

BXティール(株)第4工場(埼玉県)と御着工場(兵庫県)との物流体制の構築・連携による運送費用削減効果

60,000千円/年



参考資料

- 経営理念 「私たちは、常にお客様の立場に立って行動します」
「私たちは、優れた品質で社会の発展に貢献します」
「私たちは、積極性と和を重んじ日々前進します」
- 概 要 文化シャッター株式会社及び子会社16社
- 事 業 シャッター事業、ビル建材事業、住宅建材事業、リフォーム事業、
リニューアル事業、保守・点検・サービス事業、他
- 拠 点 294営業拠点 127サービス拠点 26工場
- 従業員数 3,805名(2016年3月末現在)

【文化シャッター株式会社(単体)】

代表者 代表取締役社長 執行役員社長 潮崎 敏彦

設 立 1955年(昭和30年)4月18日

資本金 15,051百万円

本 社 東京都文京区西片1-17-3

文化シャッター株式会社

シャッター関連製品事業

「電動開閉機」製造・販売

BX新生精機 (株)

「オーニング」製造・販売

BXテンパール (株)

「シャッター」製造・販売

BX沖縄文化シャッター(株)

「シャッター」販売

文化シャッター秋田販売(株)
文化シャッター高岡販売(株)
 (※3)

建材関連製品事業

「ドア」「パーティション」製造

BX文化パネル (株)
BX中央工業(株)(※1)

「ドア」「スライディングウォール」
 製造・販売

BXティアール (株)

「ドア」製造

BXケンセイ (株)
BX鐵矢 (株)
BX東北鐵矢 (株)
BX朝日建材 (株)

「ステンレス建材」製造・販売

BX紅雲 (株)

「建築材料」製造・販売

BX西山鉄網 (株)
 (2015年11月より社名変更)

「再生複合材」製造・販売

(株)エコウッド (※3)

サービス事業

文化シャッターサービス(株)

リフォーム事業

住宅向けリフォーム事業

BXゆとりリフォーム (株)

その他事業

「注文家具」製造・販売

BX文化工芸 (株)

損害保険代理業

BXあいわ (株)

海外事業展開

「シャッター」「ドア」「オーニング」
 製造、販売

BX BUNKA VIETNAM Co.,Ltd.

「樹脂サッシ」「アルミサッシ」製造、販売

**Eurowindow Joint Stock
 Company (※2)**

(ベトナム)

「各種シャッター製品」販売・メンテナンス

BX BUNKA TAIWAN Co.,Ltd.
 (※1)

(台湾)

～海外企業との提携～

ベルギー「ダイナコ社」
 1999年より高速シートシャッター
 「エア・キーパー大間迅」発売

その他

「ビル用サッシ他」製造・販売

不二サッシ (株)グループ
 (※2)

- ※1 非連結子会社で持分法非適用会社
- ※2 関連会社で持分法適用会社
- ※3 関連会社で持分法非適用会社

連結貸借対照表

(単位:百万円、%)

	2015年3月期		2016年3月期		増減	
		構成比		構成比		前期末比
流動資産	77,599	65.7	81,024	62.3	3,425	104.4
現金・預金	25,015	21.2	22,478	17.3	△ 2,537	89.9
受取手形・売掛金	37,469	31.7	41,814	32.1	4,345	111.6
たな卸資産	11,485	9.7	12,956	10.0	1,471	112.8
その他	3,627	3.1	3,776	2.9	149	104.1
固定資産	40,457	34.3	49,073	37.7	8,616	121.3
土地	9,014	7.6	9,633	7.4	619	106.9
投資有価証券	11,555	9.8	13,957	10.7	2,402	120.8
その他の投資・資産	2,102	1.8	2,190	1.7	88	104.2
その他	17,786	15.1	23,293	17.9	5,507	131.0
資産合計	118,056	100.0	130,098	100.0	12,042	110.2
流動負債	41,985	35.6	46,266	35.6	4,281	110.2
支払手形・買掛金	25,282	21.4	29,526	22.7	4,244	116.8
短期借入金	1,400	1.2	2,000	1.5	600	142.9
その他	15,303	13.0	14,740	11.3	△ 563	96.3
固定負債	18,742	15.9	23,110	17.8	4,368	123.3
長期借入金	80	0.1	3,000	2.3	2,920	3,750.0
退職給付に係る負債	16,885	14.3	18,238	14.0	1,353	108.0
その他	1,777	1.5	1,872	1.4	95	105.3
負債合計	60,727	51.4	69,376	53.3	8,649	114.2
純資産合計	57,328	48.6	60,721	46.7	3,393	105.9
負債・純資産合計	118,056	100.0	130,098	100.0	12,042	110.2

1株当たり株主資本

799円62銭

846円95銭

期末株価

994円

925円

PBR(株価純資産倍率)

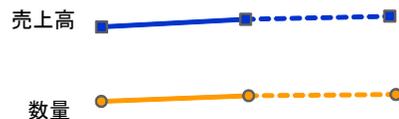
1.24

1.09

(単位: 百万円)

	2015年3月期	2016年3月期	増減
1. 営業活動によるキャッシュ・フロー	6,954	6,919	△ 35
税金等調整前当期純利益	10,466	10,420	△ 46
減価償却費	1,786	2,500	714
売上債権の増減額(△は増加)	△ 2,150	△ 2,594	△ 444
仕入債務の増減額(△は減少)	915	2,417	1,502
たな卸資産の増減額(△は増加)	△ 317	△ 941	△ 624
法人税等の支払額	△ 4,093	△ 3,608	485
その他	347	△ 1,275	△ 1,622
2. 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,724	△ 11,697	△ 8,973
投資有価証券の取得による支出	△ 39	△ 1,987	△ 1,948
有形固定資産の売却による収入	489	9	△ 480
有形固定資産の取得による支出	△ 2,248	△ 3,523	△ 1,275
無形固定資産の取得による支出	△ 150	△ 1,449	△ 1,299
その他	△ 776	△ 4,747	△ 3,971
3. 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,525	1,692	4,217
長期借入による収入	-	4,000	4,000
長期借入金の返済による支出	△ 800	△ 480	320
配当金の支払額	△ 1,147	△ 1,362	△ 215
その他	△ 578	△ 466	112
4. 現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,651	△ 3,060	△ 4,711
5. 現金及び現金同等物の期首残高	21,931	23,582	1,651
6. 現金及び現金同等物の期末残高	23,582	20,522	△ 3,060

<重量シャッター>



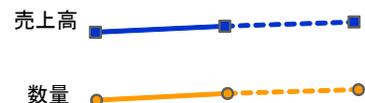
	'15.3	'16.3	'17.3予
売上高(百万円)	12,628	14,891	15,800
数量(千㎡)	370	435	449
数量シェア(%)	34.0	36.7	-

※数量シェアは、(社)日本シャッター・ドア協会の生産数量をもとに算出



- ◆ 16.3期の売上高は、前期比17.9%増。シェアは36.7%と2.7ポイントアップ。
- ◆ 17.3期は、工場・大型物流倉庫向けを中心に、売上高は前期比6.1%増の158億円を計画。

<軽量シャッター>



	'15.3	'16.3	'17.3予
売上高(百万円)	14,473	15,429	16,100
数量(千㎡)	777	811	830
電動化率(%)	33.1	33.4	-
数量シェア(%)	36.7	37.3	-

※数量シェアは、(社)日本シャッター・ドア協会の生産数量をもとに算出



- ◆ 16.3期の売上高は、前期比6.6%増。シェアは37.3%と0.6ポイントアップ。
- ◆ 17.3期は、工場・倉庫の着工増および新設住宅着工戸数の回復を見込み、売上高は4.3%増の161億円を計画。

<窓シャッター>



	'15.3	'16.3	'17.3予
売上高(百万円)	6,532	6,392	6,600
数量(千㎡)	168	160	165
電動化率(%)	25.3	24.7	-



- ◆ 16.3期の売上高は、前期比2.1%減。
- ◆ 17.3期は、新設住宅着工戸数の回復を見込み、売上高は3.2%増の66億円を計画。

<ドア>



'15.3 '16.3 '17.3 予
売上高(百万円) 34,445 37,444 38,800



- ◆ 16.3期の売上高は、前期比8.7%増の374億円。
- ◆ 17.3期は、再開発に伴うオフィスビルを中心とした堅調な市場環境を背景に、売上高は前期比3.6%増の388億円を計画。

<パーティション>



'15.3 '16.3 '17.3 予
売上高(百万円) 8,165 8,243 8,500



- ◆ 16.3期の売上高は、前期比1.0%増の82億4,300万円。
- ◆ 17.3期は、新築のオフィスビルをはじめ、文教施設向けの改修物件の受注を強化することで、売上高は前期比3.1%増の85億円を計画。

<エクステリア>

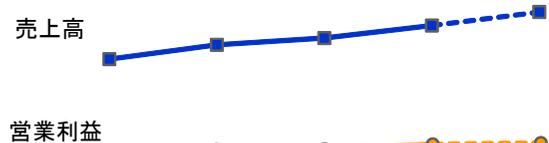


'15.3 '16.3 '17.3 予
売上高(百万円) 7,129 7,192 7,500
※横引雨戸を含めた金額で表示しています。



- ◆ 16.3期の売上高は、前期比0.9%増の71億9,200万円。
- ◆ 17.3期は、新設住宅着工戸数の回復を見込み、売上高は前期比4.3%増の75億円を計画。

<サービス事業>



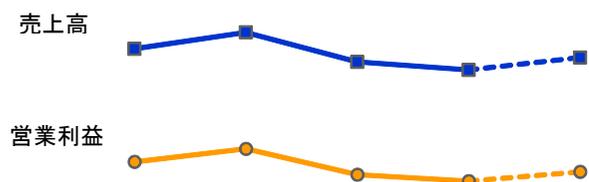
	'13.3	'14.3	'15.3	'16.3	'17.3予
売上高(百万円) (保守・点検、修理加工)	13,879	14,983	15,502	16,463	17,500
営業利益(百万円)	1,437	1,697	1,717	1,862	1,900
営業利益率(%)	10.4	11.3	11.1	11.3	10.9

- ◆ 16.3期は、安全装置の設置や災害対応の他、物流関連施設の改修に伴う修理が増加したことで、売上高は前期比6.2%増。
- ◆ 17.3期は、防火設備の点検資格者制度がスタートしたことを受け、保守点検契約の提案を積極的に推し進めることで、売上高は前期比6.3%増の175億円を計画。



修理・保守点検の様子

<リフォーム事業>



	'13.3	'14.3	'15.3	'16.3	'17.3予
売上高(百万円)	9,573	11,042	8,417	7,705	8,800
営業利益(百万円)	395	740	54	△ 117	130
営業利益率(%)	4.1	6.7	0.6	-	1.5
店舗数	21	21	21	25	-

- ◆ 16.3期は、受注件数の減少により、売上高は前期比8.5%減。
- ◆ 17.3期は、受注状況が改善傾向にあることと、昨下期に開設した3店舗の売上が通期で寄与する見込みから、売上高は前期比14.2%増の88億円を計画。



パッケージ型の定額リフォーム商品「安心価格」と、追加工事不要の「超安心価格」の拡販を図る



問い合わせ先

文化シャッター株式会社 経営企画部広報室 曾根、小林

TEL03-5844-7150 FAX03-5844-7141

E-mail bxinfo@mail.bunka-s.co.jp

<http://www.bunka-s.co.jp/>